

海響館だより ～うみのひびき～

右の写真のジェンツーペンギンは病気や高齢のペンギンでしょうか。

いえいえ、実は羽毛が生え換わっているところなのです。これを「換羽」と呼びます。ペンギン村亜南極水槽のジェンツーペンギン、マカロニペンギン、イワトビペンギンは、年に一度の換羽の真っ最中です。



羽毛は水を弾いたり空気を蓄えたりして、寒さから体を守ってくれる大切なもの。羽毛が傷んでそれらの機能が失われないよう、羽毛を新しくする必要があります。新しくなったペンギンの羽毛の水弾きは抜群ですよ。

ちなみに、換羽の間(約2～3週間)は泳ぐことができず、エサの魚を獲れないため、換羽の前にはたくさんエサを食べ、しっかりと太って栄養を蓄えておきます。

海響館(☎228-1100)



イワトビペンギンの換羽直前の太った姿(左)と通常の姿(右)

ねんりんピック 弓道リハーサル大会

来年10月開催の「ねんりんピックおいでませ!山口2015」に向け、8月17日、県立下関武道館で弓道交流大会リハーサル大会がありました。ねんりんピック全国健康福祉祭は、60歳以上の方を中心としたスポーツと文化、健康と福祉の祭典で、来年、山口県で開かれます。

リハーサル大会には市内の高校生10チームが参加し、緊張感が漂う中、練習の成果を發揮しました。



菊川そうめんの振る舞い

中学校の生徒と一緒に「ひこうき

向き合っています。昨年8月には、市内の文洋社員として働いているので、限られたわずかな時間の中で映画に

映画祭に応募して、奨励賞と観客賞を受賞したのが次の一歩となりました。普段は、市内で会社員として働いているので、限られたわずかな時間の中で映画に

映画を通して下関でしか撮れないものを伝えたい

力強いまなざしで語ってくれました。新作の『夏を撮る』も文洋中学校で撮影中。長く続いた8月の雨に泣かされながら、必ず完成させるんだと頑張っています。柴口さんの夏はもう少し続くよ

柴口さん。映画が大好きな柴口さん。映画を自ら撮ろうと一歩を踏み出したのは、以前の職場で、部下の結婚式のために作った、写真を使った物語仕立てのスライドショーがすごく好評だったこと。それがきっかけで映画祭に応募して、奨励賞と観客賞を受賞したのが次の一歩となりました。普段は、市内で会社員として働いているので、限られたわずかな時間の中で映画に

『ひこうき雲』福岡インディペンデント映画祭・企画賞、ぴあフィルムフェスティバルに入選中

柴口 勲さん





女子チームも元気に参加



ゴールを目指して、かいを漕ぐ選手たち

各チームは、艇指揮1人、艇長1人、漕手6人の計8人がカッターに乗り込み、180メートルのコースを往復してタイムを競いました。台風の影響で雨の中の大会でしたが、参加者はずぶ濡れになりながら懸命にかいを漕いでいました。

第3回下関カッターレース

8月3日に下関漁港前海域で「第3回下関カッターレース大会」がありました。市内のチームを中心に、全国から昨年より多い男女62チームが参加。

大切さを学ぶイベントです。会場では、菜の花搾油体験、小枝クラフト講座など、見て・聞いて・触れて・楽しみながら温暖化対策、リサイクルの体験ができるブースがたくさんあり、参加した子どもたちでにぎわっていました。

サマー・キッズエコフェスタ

8月3日、しものせき環境みらい館で、「サマー・キッズエコフェスタ」を開催しました。これは、子どもたちが楽しく遊びながら、環境問題に取り組むことの大



小枝クラフトに挑戦する子どもたち

しものせきトピックス

Shimonoseki Topics

海響館入館者1,000万人達成!

8月3日、海響館の入館者数が、当初の予想より約2年早く1,000万人を達成しました。1,000万人目は、京都府から遊びに来た小林千紘さん。水族館が大好きで、全国の水族館を回っているとのこと、家族と一緒に初めて海響館を訪れたそうです。小林さんには、たくさんぬいぐるみが入った記念品や入館証が贈られ、多くのお客さんやペン太に祝福されました。



記念品を笑顔で受け取る小林千紘さん

夏休み親子避難所体験in2014

7月19日、「夏休み親子避難所体験」が市立青年の家であり、約40人が参加しました。これは、市民の防災意識を高めること、知識の普及・啓発を目的に、毎年行われています。参加した皆さんは、避難所設置訓練や炊き出し訓練、給水車による給水訓練、山口県消防防災ヘリコプター「きらら」による救出訓練など、さまざまな防災体験を通じて、防災意識を高めました。



消防防災ヘリコプター「きらら」に見入る子どもたち